

(講座) 医療薬学
(氏名) 大石和徳

(研究室) 感染症予防治療学
(職名) 助教授

【研究テーマ】

1. 重症難治性呼吸器感染症の病態に関する研究
2. 呼吸器感染症ワクチンに関する基礎的臨床的研究
3. デングの血小板減少症の機序に関する研究
4. HIV/AIDS の病態と治療に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. H. Amano, K. Morimoto, M. Senba, H. Wang, Y. Ishida, A. Kumatori, H. Yoshimine, K. Oishi, N. Mukaida, T. Nagatake. Essential contribution of monocyte chemoattractant protein-1/C-C chemokine ligand-2 to resolution and repair processes in acute bacterial pneumonia. *J. Immunol*, 172, 398-409(2004)
2. H. Watanabe, K. Hoshino, R. Sugita, N. Asoh, K. Watanabe, K. Oishi, T. Nagatake. Possible high rate of transmission of nontypeable *Haemophilus influenzae* including β -lactamase-negative ampicillin-resistant strains between children and their parents. *J. Clin. Microbiol*, 42, 362-5(2004)
3. K. Motomura, N. Toyoda, K. Oishi, H. Sato, S. Nagai, B.S. Tugume, R. Enzama, R. Mugerwa, C.K. Mutuluza, P. Mugenyi, T. Nagatake, K. Matsushima. Identification of a host gene subset related to disease prognosis of HIV-1 infected individuals. *International. Immunopharmacology*, 4, 1829-36(2004)
4. Y. Nagayama, M. Sandra, S.M. McLachlan, B. Rapoport, K. Oishi. Graves' hyperthyroidism and hygiene hypothesis in a mouse model. *Endocrinology*, 145, 5075-9(2004)
5. M. Saito, K. Oishi, S. Inoue, E.M. Dimaano, M.T.P. Alera, M.P. Robles, J.R. Estrella, A. Kumatori, K. Moji, B.M.T. Alonzo, C.C. Buerano, R.R. Matias, K. Morita, F.F. Natividad, T. Nagatake. Association of increased platelet-associated immunoglobulins with thrombocytopenia and the severity of disease in secondary dengue virus infections. *Clin. Exp. Immunol*, 138, 299-303(2004)

B 邦文

(B-a) 原著論文

1. 高木理博, 天野秀明, 麻生憲史, 鵜飼桃代, 森本浩之輔, 大石和徳, 永武 毅: カポジ水痘様発疹に横紋筋融解症を合併した1例. 感染症学雑誌. 78, 59-63 (2004)
2. 光嶋博昭, 川添金雄, 高橋 淳, 大石和徳, 永武 毅: シェーグレン症候群にBOOPパターンを合併しARDSをきたした1症例. 日本呼吸器学会雑誌. 42, 261-5(2004)
3. 石田正之, 大石和徳, 中澤秀介: 疑うことから診断をはじめたマラリアの2症例. 治

療学. 38, 349-54(2004)

4. 大石和徳, 渡邊 浩: 昨年の SARS 流行地域における問題点とその対策. 呼吸器科. 5, 52-7(2004)
5. 本村和嗣, 真崎宏則, 寺田真由美, 鬼塚智子, 古本朗嗣, 麻生憲史, 大石和徳, 永武 毅.: 2000-2002 年における市中肺炎の起炎菌と重症度別症例解析. 日本呼吸器学会雑誌. 42, 68-74(2004)
6. 本村和嗣, 真崎宏則, 寺田真由美, 鬼塚智子, 下釜誠司, 古本朗嗣, 麻生憲史, 渡邊貴和雄, 大石和徳, 永武 毅: *Corynebacterium propinquum* 呼吸器感染症の 3 症例. 感染症学雑誌. 78, 277-82(2004)
7. 増田剛太, 大石和徳: 我が国における輸入感染症としての熱帯病. Trop Med Health. 32, 207-8(2004)

(B-b) 総説

1. 大石和徳: 新興・再興感染症- 重症急性呼吸症候群(SARS)- . 日本耳鼻科学会雑誌. 107, 170-3(2004)
2. 小山 純, 大石和徳: 市中肺炎の原因と病態. 薬局. 55, 3-9(2004)
3. 大石和徳: 肺炎診療の現状. 高齢者の予防接種- インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンの接種状況-. 日本医師会雑誌. 131, 342-346(2004)
4. 栗田伸一, 大石和徳: 呼吸器感染症-最新の話, インフルエンザ菌. 呼吸と循環. 52, 125-9(2004)
5. 大石和徳: 海外旅行と感染症. 4. マラリアとその予防薬. 治療学. 38, 280-5 (2004)
6. 大石和徳: 成人における肺炎球菌ワクチンの今日的な位置づけ. 呼吸. 23, 257-263(2004)
7. 大石和徳: SARS の臨床像. 現代医療. 36, 2250-5 (2004)
8. 大石和徳: 知っておきたい呼吸器感染症: SARS 呼吸器科. 6, 1-6 (2004)
9. 大石和徳: 肺炎の診断と治療-新しい流れ: 新しいウイルス性肺炎:SARS、鳥インフルエンザ. 成人病と生活習慣病. 34, 1324-47 (2004)
10. 大石和徳: 呼吸器感染症研究の最前線. 肺炎球菌の病原性因子. 最新医学. 59, 2543-6(2004)
11. 大石和徳: 抗菌薬をめぐるコントラバーシ. 呼吸器感染症にニューキノロン薬を first choice とするか. 医学のあゆみ. 209, 635-9 (2004)
12. 大石和徳, 齊藤麻理子. 急性デングウイルス二次感染症において PAIgG, PAIgM の増加は血小板減少および重症度と相関する. ウイルスレポート, 1: 74-80 (2004)
13. 大石和徳. SARS の治療と感染対策. 侵襲と免疫, 13:17-20(2004)

(B-c) 著書

1. 川上健司, 大石和徳: I 高齢者感染症の特徴 7. 高齢者へのワクチン, 化学療法研究会, 化学療法の領域 2004 年 増刊号 高齢者感染症のすべて, 医薬ジャーナル社, 大阪市, 50-4 (2004)
2. 大石和徳: 新興再興感染症: SARS の教訓, SARS の症状と経過, 日本評論社, 東京都,

15-20 (2004)

3. 小山和彦、大石和徳：梅毒 マラリア，黒川清 寺本民生，EBM 内科処方指針，中外医学社，東京都，1153-5、1163-7(2004)

(B-b) 総説

1. 大石和徳：新興・再興感染症- 重症急性呼吸症候群 (SARS)- . 日本耳鼻科学会雑誌. 107, 170-3 (2004)
2. 小山 純，大石和徳：市中肺炎の原因と病態. 薬局. 55, 3-9(2004)
3. 大石和徳：肺炎診療の現状. 高齢者の予防接種- インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンの接種状況- . 日本医師会雑誌. 131, 342-346(2004)
4. 栗田伸一，大石和徳：呼吸器感染症-最新の話，インフルエンザ菌. 呼吸と循環. 52, 125-9(2004)
5. 大石和徳：海外旅行と感染症. 4. マラリアとその予防薬. 治療学. 38, 280-5 (2004)
6. 大石和徳：成人における肺炎球菌ワクチンの今日的な位置づけ. 呼吸. 23, 257-263(2004)
7. 大石和徳：SARS の臨床像. 現代医療. 36, 2250-5 (2004)
8. 大石和徳：知っておきたい呼吸器感染症：SARS 呼吸器科. 6, 1-6 (2004)
9. 大石和徳：肺炎の診断と治療-新しい流れ：新しいウイルス性肺炎：SARS、鳥インフルエンザ. 成人病と生活習慣病. 34, 1324-47 (2004)
10. 大石和徳：呼吸器感染症研究の最前線. 肺炎球菌の病原性因子. 最新医学. 59, 2543-6(2004)
11. 大石和徳：抗菌薬をめぐるコントラバーシ. 呼吸器感染症にニューキノロン薬を first choice とするか. 医学のあゆみ. 209, 635-9 (2004)
12. 大石和徳、齊藤麻理子. 急性 Dengue ウイルス二次感染症において PAIgG, PAIgM の増加は血小板減少および重症度と相関する. ウイルスレポート, 1: 74-80 (2004)
13. 大石和徳. SARS の治療と感染対策. 侵襲と免疫, 13:17-20(2004)

【学会発表】

A 国際学会

(A-a) 招待講演，特別講演，受賞講演

なし

(A-b) 一般講演

1. Oishi K, Watanabe H, Nagatake T and the Pneumococcal respiratory tract infection study group: Clinical and epidemiological study of respiratory pathogenic *Streptococcus pneumoniae* and the immunological effects of pneumococcal polysaccharide vaccine among elderly patients with chronic lung disease in Japan. US-Japan Cooperative Medical Science Program, San Francisco, USA, March 21-22, 2004.
2. Watanabe H, Hoshino K, Asoh N, Watanabe K, Oishi K, Nagatake T: Molecular analysis of intrafamilial transmission in *Streptococcus pneumoniae*, *Haemophilus*

influenzae and *Moraxella catarrhalis*. US-Japan Cooperative Medical Science Program, San Francisco, USA, March 21-22, 2004.

3. Koyama J, Oishi K, Onizuka S, Kurita S, Nagatake T: Dendritic Cell Influx and P6-Specific Adaptive Immunity in the Lung after Air Way Challenge of H. influenzae outer Membrane Protein. American Thoracic Society International Conference. May 21-26, 2004, Orland, Florida, U. S. A.
4. Watanabe H, Asoh N, Watanabe K, Oishi K, Nagatake T: Antimicrobial Susceptibility and Genetic Characteristics of *Haemophilus influenzae* Isolated from Sputum from Respiratory Tract Infections Between 1987 and 2000, Including - Lactamase-Negative Ampicillin-Resistant Strains. 104th American Society for Microbiology General Meeting. May 23-27, 2004, New Orleans, Louisiana, U. S. A.

B 国内学会

(B-a) 特別講演、その他

1. 大石 和徳：ランチョンセミナー IV. 呼吸器感染症ワクチン：その現在と未来. 第79回日本結核病学会総会 名古屋, 2004年4月20日-21日.
2. 大石和徳：ランチョンセミナー 新興呼吸器ウイルス感染症とその対応. 第40回日本小児放射線学会 長崎, 2004年6月25日.
3. 大石和徳：ランチョンセミナー 慢性肺疾患の急性増悪と感染症. 第44回臨床呼吸機能講習会 福岡, 2004年8月26日.
4. 大石和徳：シンポジウム3 肺炎球菌ワクチンの現状と課題. 第53回日本感染症学会東日本地方総会 第51回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会 新潟市, 2004年10月21-22日.
6. 大石 和徳：シンポジウムこれから問題となる感染症の集団発生にどう対応するか 1. SARS 対策. 第74回日本感染症学会西日本地方会総会 島根, 2004年11月25-26日. P347.
7. 大石 和徳：特別講演 新興呼吸器ウイルス感染症とその対応. 第56回日本気管食道科学会総会 東京都, 2004年11月25-26日. P41
8. 齊藤 麻理子, 大石 和徳：シンポジウム I-5 デング重症化機序の解明を目指して. 第45回日本熱帯医学会大会 東京, 2004年10月15-16日. P32

(B-b) 一般講演

1. 池田秀樹, 小山 純, 大石和徳, 永武 毅, 鬼塚正三郎：肺炎球菌の気道免疫における樹状細胞の動態と特異抗体(PspA抗体、CPS抗体)誘導についての検討. 第44回日本呼吸器学会学術講演会, 東京, 2004年3月31日-4月2日. P109
2. 渡邊 浩, 大石和徳, 永武 毅：N-acetylneuraminic acidに関連した Nontypeable *Haemophilus Influenzae* のバイオフィルム産生についての基礎的検討. 第44回日本呼吸器学会学術講演会, 東京, 2004年3月31日-4月2日. P109
3. 小山 純, 鬼塚正三郎, 栗田伸一, 大石和徳, 永武 毅：インフルエンザ菌外膜蛋白抗原気管内反復接種による獲得免疫誘導. 第44回日本呼吸器学会学術講演会, 東京,

2004年3月31日-4月2日. P157

4. 光嶋博昭, 真崎宏則, 鬼塚智子, 倉本剛史, 寺田真由美, 古本朗嗣, 大石和徳, 永武毅: 当院における高齢者院内肺炎の臨床的特徴. 第44回日本呼吸器学会学術講演会, 東京, 2004年3月31日-4月2日. P178
5. 川添金雄, 小山和彦, 黒木麗喜, 川上健司: 国立療養所川棚病院における細菌性呼吸器感染症の起炎菌に関する検討. 第44回日本呼吸器学会学術講演会, 東京, 2004年3月31日-4月2日. P178
6. 吉嶺裕之, 大石和徳, 池田秀樹, 本田章子, 永武毅: 肺炎球菌性下気道感染症の現況 <全国多施設共同研究結果報告>. 第78回日本感染症学会総会, 東京, 2004年4月6日-7日. P76
7. 麻生憲史, 渡邊浩, 星野和彦, 渡邊貴和雄, 大石和徳, 永武毅, 杉田麟也: *Moraxella catarrhalis* の家庭内伝播に関する分子疫学的解析. 第78回日本感染症学会総会, 東京, 2004年4月6日-7日. P76
8. 古本朗嗣, 山領豪, 大石和徳, 永武毅, 川上健司, 真崎宏則: 第3世代ELISAを用いて慢性呼吸器疾患患者の肺炎球菌ワクチン接種前後での血清中肺炎球菌莢膜ポリサッカライド(CPS) IgGの検討. 第78回日本感染症学会総会, 東京, 2004年4月6日-7日. P114
9. 齋藤麻理子, 大石和徳, 本田章子, 永武毅: デングウイルス感染症におけるPlatelet-associated IgG, の臨床的意義. 第78回日本感染症学会総会, 東京, 2004年4月6日-7日. P121
10. 本田章子, 大石和徳, 齋藤麻理子, 永武毅: 最近のフィリピン・メトロマニラにおける小児デングの臨床像. 第78回日本感染症学会総会, 東京, 2004年4月6日-7日. P194
11. 渡邊浩, 星野和彦, 麻生憲史, 大石和徳, 永武毅: 肺炎球菌、インフルエンザ菌の親子間伝播に関する分子疫学的検討. 第101回日本内科学会総会 東京, 2004年4月8日-10日. P151
12. 石田正之, 麻生憲史, 土橋佳子, 調漸, 大石和徳, 永武毅: Pergolide 投与により胸水貯留を来したと考えられる Parkinson 病の1例. 第265回日本内科学会九州地方会 沖縄, 2004年5月22日. P38
13. 池田秀樹, 小山純, 大石和徳, 永武毅, 鬼塚正三郎: 肺炎球菌(type 3)の気道免疫における特異抗体(CPS抗体、PspA抗体)誘導と樹状細胞の動態について. 第24回気道分泌研究会 北海道, 2004年5月29日.
14. 石田正之, 古本朗嗣, 山領豪, 大石和徳, 永武毅, 柳哲雄, 神原廣二: 海外渡航後ランブル鞭毛虫、クリプトスポリジウム、ブラストシスチスの3原虫感染を認めた1例. 第265回日本内科学会九州地方会 沖縄, 2004年5月22日. P35
15. 渡邊貴和雄, 吉嶺裕之, 大石和徳, 渡邊浩, 永武毅: 呼吸器感染症患者より分離された肺炎球菌の各種抗菌剤に対する感受性及び血清型の検討. 第52回日本化学療法学会総会 沖縄, 2004年6月3日-4日. P118
16. 渡邊浩, 渡邊貴和雄, 大石和徳, 永武毅: ベトナムにおける小児上気道由来と髄液由来インフルエンザ菌の薬剤感受性と分子疫学的検討. 第52回日本化学療法学会

総会 沖縄, 2004年6月3日~4日. P124

17. 寺田真由美, 栗田伸一, 水城恒隆, 池田喜彦, 大石和徳, 永武 毅: CO2 ナルコーシスを呈した僧帽弁腱索断裂の一例. 第52回日本呼吸器学会九州地方会春季学会 福岡, 2004年6月5日. P33
18. 土橋佳子, 本村和嗣, 渡邊貴和雄, 大石和徳, 永武 毅: *Mycobacterium xenopi* による肺非結核性抗酸菌症の1例. 第52回日本呼吸器学会九州地方会春季学会 福岡, 2004年6月5日. P45
19. 石田正之, 土橋佳子, 大石和徳, 永武 毅, 安部邦子, 林徳眞吉, 北市正則, 宇野勝次: モンテルカストによる薬剤性好酸球性肺炎の一例. 第52回日本呼吸器学会九州地方会春季学会 福岡, 2004年6月5日. P47
20. 石田正之, 古本朗嗣, 山領 豪, 大石和徳, 永武 毅: インド渡航後にジアルジア、クリプトスポリジウム、ブラストシスチスの3原虫感染を認めた1例. 第15回日本臨床寄生虫学会 東京, 2004年6月19日. P31
21. 古本 朗嗣, 山領 豪, 渡辺 浩, 大石 和徳, 永武 毅: 慢性呼吸器疾患患者における肺炎球菌ワクチン (PV) 接種前後の経時的血清型特異的莢膜ポリサッカライド (CPSIgG) 濃度の推移の検討. 第74回日本感染症学会西日本地方会総会 島根, 2004年11月25-26日. P45
22. 土橋 佳子, 吉嶺 裕之, 渡辺 浩, 大石 和徳, 永武 毅: 治療に難渋したMRSA 化膿性脊椎炎. 第74回日本感染症学会西日本地方会総会 島根, 2004年11月25-26日. P51
23. 齊藤 麻理子, 本田 章子, 大石 和徳, 永武 毅: デング二次感染症の重症化とPAIgM. 第74回日本感染症学会西日本地方会総会 島根, 2004年11月25-26日. P54
24. 石田 正之, 寺田 真由美, 池田 秀樹, 土橋 佳子, 吉嶺 裕之, 麻生 憲史, 大石 和徳, 永武 毅: 当院における最近5年間のマラリア症例の検討- 血小板減少を中心として-. 第74回日本感染症学会西日本地方会総会 島根, 2004年11月25-26日. P60
25. 石田 正之, 吉嶺 裕之, 渡辺 浩, 大石 和徳, 永武 毅: 当院におけるtravel clinic の現状と問題点. 第74回日本感染症学会西日本地方会総会 島根, 2004年11月25-26日. P61
26. 土橋 佳子, 石田 正之, 渡辺 浩, 渡辺 貴和雄, 大石 和徳, 永武 毅, 弦本 敏行: *E. coli* による壊死症筋膜炎の一例. 第74回日本感染症学会西日本地方会総会 島根, 2004年11月25-26日. P71
27. 加地 千春, 渡辺 浩, 渡辺 貴和雄, 大石 和徳, 永武 毅: ベトナムにおける小児上気道由来と髄液由来インフルエンザ菌に対する分子疫学的検討. 第45回日本熱帯医学会大会 東京, 2004年10月15-16日. P75
28. 吉嶺 裕之: シンポジウム 2-1 成人市中肺炎の現状と問題点 (肺炎球菌の薬剤耐性の推移). 第56回日本結核病学会九州地方会総会 第53回日本呼吸器学会九州地方会総会 福岡, 2004年11月11-12日. P50
29. 古本 朗嗣, 大石 和徳, 永武 毅, 末安 禎子, 相澤 久道, 岩永 知秋:

慢性呼吸器疾患患者の急性増悪に対する肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチンの併用効果の検討. 第56回日本結核病学会九州地方会総会 第53回日本呼吸器学会九州地方会総会 福岡, 2004年11月11-12日. P57

30. 松木 啓, 真崎 宏則, 池田 秀樹, 鬼塚 智子, 光嶋 博昭, 倉本 剛史, 大石 和徳, 永武 毅:Piperacillin- amoxicillin スイッチ療法の有用性に関する検討. 第56回日本結核病学会九州地方会総会 第53回日本呼吸器学会九州地方会総会 福岡, 2004年11月11-12日. P58
31. 中間 貴弘, 田代 尚樹, 天野 秀明:結節影と湿潤影の混在した画像所見を呈した肺クリプトコッカス症の1例. 第56回日本結核病学会九州地方会総会 第53回日本呼吸器学会九州地方会総会 福岡, 2004年11月11-12日. P63
32. 石田 正之, 鈴木 基, 天野 秀明, 川原 史生, 北市 正則, 大石 和徳:PCPS(V-V ECMO)を用い救命しえたARDSの一例. 第56回日本結核病学会九州地方会総会 第53回日本呼吸器学会九州地方会総会 福岡, 2004年11月11-12日. P86
33. 石田 正之, 米田 愛, 土橋 佳子, 大石 和徳:*Mycoplasma pneumoniae*感染により生じたと考えられるARDSの一例. 第56回日本結核病学会九州地方会総会 第53回日本呼吸器学会九州地方会総会 福岡, 2004年11月11-12日. P86
34. 本田 章子, 本村 和嗣, 土橋 佳子, 大石 和徳:特発性肺胞蛋白症にGM-CSF吸入療法を行った2症例. 第56回日本結核病学会九州地方会総会 第53回日本呼吸器学会九州地方会総会 福岡, 2004年11月11-12日. P88
35. 高木 理博, 栗田 伸一, 森 良孝, 池田 喜彦, 竹林 茂夫, 大石 和徳, 永武 毅:透析治療中に両側肋骨転移で発見された混合型肝癌の一部検例. 第56回日本結核病学会九州地方会総会 第53回日本呼吸器学会九州地方会総会 福岡, 2004年11月11-12日. P88
36. 寺田 真由美, 土橋 佳子, 大石 和徳:慢性咳嗽を契機に発見されたランゲルハンス細胞組織球症の一例. 第56回日本結核病学会九州地方会総会 第53回日本呼吸器学会九州地方会総会 福岡, 2004年11月11-12日. P89
37. 古本 朗嗣, 大石 和徳, 永武 毅, 立石 洋平:多発反復する肺血栓症を合併したクローン病の一例. 第56回日本結核病学会九州地方会総会 第53回日本呼吸器学会九州地方会総会 福岡, 2004年11月11-12日. P90
38. 中間 貴弘, 田代 尚樹, 天野 秀明:肺結節影にて精査しPseudolymphomaと診断した1例. 第56回日本結核病学会九州地方会総会 第53回日本呼吸器学会九州地方会総会 福岡, 2004年11月11-12日. P90
39. 小山 和彦, 原田 義高, 黒木 麗喜, 川上 健司, 高橋 孝郎:嚥下障害に対し喉頭気管離断術を施行した2症例. 第56回日本結核病学会九州地方会総会 第53回日本呼吸器学会九州地方会総会 福岡, 2004年11月11-12日. P91
40. 倉本 剛史, 土橋 佳子, 吉嶺 裕之, 山領 豪, 渡辺 貴和雄, 渡辺 浩, 大石 和徳:COPDの急性増悪に関する臨床的検討. 第56回日本結核病学会九州地方会総会 第53回日本呼吸器学会九州地方会総会 福岡, 2004年11月11-12日. P103

【特許】

なし

【研究費取得状況】

1. 文部科学省科学研究費基盤B：デング出血熱の重症化機序の解明と治療戦略、平成16年度。
2. 厚生労働省科学研究費（新興・再興感染症研究事業）：水痘、流行性耳下腺炎、肺炎球菌による肺炎等の今後の感染症対策に必要な予防接種に関する研究、平成16年
3. 厚生労働省科学研究費（難治性疾患克服研究事業）特定疾患の微生物学的原因究明に関する研究、平成16年度
4. 厚生労働省科学研究費：国際健康危機管理のための情報ネットワークのあり方に関する研究、平成16年度
5. 日米医学協力プログラム：急性呼吸器感染症部会、研究員、平成16年度

【学会役員等】

1. 日本熱帯医学会、理事
2. 日本感染症学会、評議員
3. 日本呼吸器学会、代議員
4. 日本炎症・再生医学会、評議員
5. 日本化学療法学会、評議員
6. 日本臨床寄生虫学会、幹事

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	71 編	（邦文）	25 編
総説（欧文）	0 編	（邦文）	33 編
著書（欧文）	0 編	（邦文）	23 編
紀要（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
特許	0 件		